

# 勝彦の千思万考

※イメージ図です



## 味坂スマートインターチェンジ(仮称)が着工

福童浄化センターの南側（県道久留米小郡線から国道3号線までを取り付け道路として整備）に令和5年度中の完成を目標に事業を推進しています。交通の便利が良くなるのは間違いない事ですが市の負担もゼロではなく5〜10億円程度の負担が見込まれています。また、土地の有効活用には冠水する土地に対しての浸水対策が必要です。近年発生する集中豪雨では内排水を処理する宝満川本体の改修も必要になってくる事が想定され莫大な費用がかかります。新型コロナウイルスの影響で社会情勢が大きく変化中、企業が設備投資できるのか？市の負担と企業進出による増収増の費用対効果の検証が重要です。

## 近況報告

毎年の行事が全て中止 😞  
いつもと違う年末年始に戸惑いながら・・・  
宝くじ🎰だけはいつも通りのドリームジャンボ（大きな夢）でした💰



## 勝ちゃんのとてく雑記

今回はお休みです 😊

## 井上勝彦プロフィール

昭和41年2月 浮羽町(現在のうきは市)生まれ  
54歳 うお座 A型

- 平成17年 小郡市議会議員補欠選挙で初当選  
議会での経歴  
・平成20年5月～22年5月 総務文教常任委員長  
・平成24年5月～26年5月 議会運営委員長  
・平成26年5月～30年5月 議長  
・平成30年5月～現在 議会選出 監査委員
- 平成30年 小郡市議会議員選挙で当選。現在5期・16日目。  
現在は 議席番号14番 無所属  
同志7名で結成した おごおり創志会会長  
議会選出 監査委員  
総務文教常任委員会 委員  
議会運営委員会 委員

### 《現在活動中の団体》

- ・NPO法人 元気っ子未来塾 監事
- ・明るい社会づくり運動県南地区協議会 常任理事
- ・福岡都市圏研究会 会員 など

小郡市に対してのご意見やご質問をお知らせください

TEL 0942-73-3966(専用ダイヤル)  
FAX 0942-73-3889

井上勝彦事務所 / 〒838-0138 小郡市寺福童322-1

◆重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが井上勝彦事務所までご一報ください。

小郡市議会議員

井上勝彦後援会

# 勝ちゃんタイムズ

KATCHAN TIMES

NO.33 New Year 2021

# 一陽来復

井上勝彦



2020年は100年に1度と言われる新型コロナウイルス感染症の影響を受けた一年になりました。そして未だ終息の兆しも見えていません。この新型コロナウイルス感染症が私たちの生活に及ぼす影響は計り知れないものです。  
市民の皆さんの声を伺い、この困難を乗り越えていく覚悟です。

「自分だけは大丈夫…」  
その油断が禁物です！

感染防止対策が不十分な  
場所への外出は避けましょう

うつらない・うつさないために  
「新しい生活様式」の徹底を！

マスクをしよう 手を洗おう 距離をとろう 換気をしよう

小郡市民のみなさんへ  
新型コロナウイルス  
感染拡大防止のお願い

小郡市新型コロナウイルス感染症対策本部







# 9月 議会報告

8月27日～9月24日までの29日間の会期で開催しました。決算審査特別委員会を設置して令和元年度の決算について集中審議をしました。また、新型コロナウイルス感染症対策費などの一般会計補正予算を始め報告5件、議案6件、認定8件の議案を審査しました。

## 審議された主な案件

### 議案第40号

**令和2年度 一般会計補正予算（第8号）の承認について**  
8億2100万円を追加した283億6200万円とする。

新型コロナウイルス感染症対策費とふるさと寄付金の増収が見込まれることによる返礼品などの関係経費の増額が主なものです。

対当初予算比39.6%の増加 対前年同期比25.6%の増加

# 12月 議会報告

11月30日～12月21日までの22日間の会期で開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の価値観が大きく変化していることから第6次総合振興計画の策定を2年延長する議案が提出されましたが否決をいたしました。全国でコロナの影響で計画の策定を延期している自治体がある一方で県内の4自治体は当初の予定通りに策定するなどそれぞれの自治体で取り組みが違います。また、10年間の総合振興計画では未来の予測が困難で策定自体を見直す自治体も出てきています。何れにしてもこの結果が市民生活に影響のないように議会としてしっかりと取り組んでいかなければなりません。

## 審議された主な案件

### 議案第47号

**令和2年度 一般会計補正予算（第10号）の承認について**  
2億8000万円を追加した286億5800万円を予算とする。

対当初予算比41.1%の増加 対前年同期比24.2%の増加

### 主な歳出(支出)

## 新型コロナウイルス感染症関係

プレミアム商品券「将軍藤小判」の追加発行  
1030万円

地域の経済対策として1億円の追加、プレミアム率20%で3月に抽選販売の予定

コミュニティセンター等のWi-Fi環境整備  
602万円

市民のリモート活動を推進して、新しい暮らしづくりに寄与するもの

小・中学校の修学旅行取り消し料の負担  
1423万円

感染症拡大の影響で修学旅行が中止となった場合のキャンセル料を負担し、保護者負担の軽減を図る

私立保育園等の環境整備への補助 600万円  
保育環境の負担軽減をするための機器導入の補助金として1施設あたり50万円の支援

学校生活における思い出づくり支援  
650万円

学校行事等の中止によって出来なかった思い出に残る体験活動を支援する経費

就学援助費の拡充 440万円  
対象世帯の中学・高校進学にあたり増加する出費に対する追加支援

7月豪雨および9月の台風10号での  
農業者への災害支援 1680万円

私立保育園の施設整備への補助金  
1117万円

小郡中央保育園分園の増改築を行うことによって定員増と待機児童の解消を図るもの



### 主な歳出(支出)

## 新型コロナウイルス感染症関係

甘木鉄道運行維持対策事業 87万円  
県と沿線自治体で事業継続のサポートを行うもの

感染拡大防止対策事業者支援事業 2017万円  
県のガイドラインに沿って感染拡大防止策を実施している事業者に対して一律3万円の支援をするもの

農業経営継続支援事業 3190万円  
国の支援事業（経営継続補助金等）の対象者に対して市独自で10万円の上乗せ支援をするもの

## ふるさと納税推進事業 5億3900万円

当初見込み（3億5000万円）を大幅に上回る寄付金（6億9000万円）が見込まれるため返礼品や配送などにかかる経費を増額するものです。増えた寄付金はまちづくり支援基金に積み立てられ、まちづくりに使われます。

障害福祉事業所等特別支援金給付事業 6107万円  
障害者支援に取り組んでいる施設・事業所に対して市独自で10万円の支援をするもの

介護サービス事業所等特別支援金給付事業 8410万円  
介護サービス事業所等に対して市独自で10万円の支援をするもの

食の支援事業「まごころパックお届け事業」94万円  
6月補正事業の継続、生活に困窮している方へ食材セット「まごころパック」で支援するもの

## 一般質問 ～12月議会にて～

### 市政運営について

#### 質問

1期4年の実績と強いリーダーシップに多くの市民から2期目への期待の声を聞きますが来春の市長選挙への出馬については？

#### 市長答弁

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策からワクチン接種までの出口対策、近年相次ぎます災害対策、緊急財政計画の対策等、目の前の課題に果敢に取り組みながら、アフターコロナではこの高い交通の利便性、自然環境、農環境のよさという小郡市の有利なポジションを生かす可能性を描き出す、もっとつながるまち小郡へ2期目に向けて市政を担っていきたいと思います。

#### 質問

ふるさと納税が4年前の約30倍と爆発的に増加しているがその効果は？

#### 環境経済部長答弁

①収入増  
寄付額から必要経費と市民が市外へふるさと納税をした影響額を差し引いても平成29年から令和元年までの3年間で4億3500万円の収入増の効果が出ています。（※令和元年度は2億8600万円）

②新しい産業の創出  
寄附していただいた方のデータが企業・商店には大切な顧客リストとして残ります。顧客リストを活用することで地場産業振興にも大いに役立っています。

③関係人口の増加  
ふるさと納税で小郡市に関心を持って関わってくれる関係人口が毎年3万人以上で全国に小郡市をPRする事が出来ました。これは移住・定住や観光に繋がります。

**令和元年度は  
2億8600万円の収入増**  
収入・6億4800万円  
経費・3億6200万円

**企業誘致等の税収で考えたら  
11億4400万円税収増と同じ効果**  
※税収増は国のルール(地方交付税算定基準)で75%カットされ市には25%の収入源



返礼品トッピングはさかえやの蔵出し辛子明太子

### 歴史資産の活用について

#### 質問

観光と文化財の連携について

#### 教育部長答弁

組織連携として、観光係のほうへ文化財専門職員を配置しています。事業連携では小郡祇園神社からさとう別荘、平田家住宅などを巡る「ブラリオごおり町家編」を連携して実施しました。この事業は、歴史と地形を読み解き現在の生活との関わりについて現地を散策し、観光資源として地域を捉えることを目的としているものです。

#### 質問

平田家住宅の活用について

#### 市長答弁

小郡校区の皆様から、平田家を中心に様々なルートの開発や観光ガイドの育成、鴨を使った名物料理の開発など実現したら面白いと思う皆さんのアイデアをいただきました。歴史資産を積極的に活かしていこうとする市民の皆さんやNPO法人の主體的な取組が大きな鍵となりますが、行政としては取り組みに対して積極的に支援を行います。



市指定文化財の平田家住宅